

西っ子だより



早いもので、2学期が始まり3週間が経過しようとしています。心配していた残暑も今年は台風や秋雨前線の影響で全くなく、日々過ごしやすい学校生活の中、夏休みから心身ともに抜け出した子どもたちがいよいよ運動会練習をはじめとする授業や行事に頑張っているところです。本校ではまだ感染症もあまり出ていないのですが、全国的にインフルエンザが流行していますし、新型コロナの情報もちらほらと入ってきます。引き続き、お子様方の健康や事故の防止にご協力ください。

【私はどっち？赤かな？白かな？】

9月7日(月)今年初めての試みですが、紅白発表を校長室からの配信システムにしました。これまでは全校体育館に入り、結団式という形で行っていましたが、そうすると応援団の子たちや各係の子たちの動きが遅れるということが反省に出されました。そこで新たな方法として動画配信での方法を取り入れたところです。デジタル社会の今に沿った改善で、子どもたちも混乱や不満もなく、むしろより意欲的に紅白発表が盛り上がりました。「温故知新」という言葉がありますが、よき古き文化と期待の未来の文化を融合させて、これからもより楽しく、より効果的に取組を検証改善していきたいですね。



【2年生図工 手作り風鈴づくり】

9月10日(木)ゲストティーチャーに堀さんを招いて、2年生が風鈴作り体験を行いました。自然の中にある木、竹、石、貝がら、サンゴ、シーグラス(浜辺に落ちている角の取れたビンの破片)などを材料に、風鈴を作る活動です。子どもによって材料が違いため、中にはノコを使ったりキリを使ったりする必要もあり、堀さんからの丁寧なアドバイスをもらいながら、思い思いに個性豊かな風鈴ができました。狙った通りにいった子もきれいな音を発見した子も、とってもいい表情を見せてくれました。



【おうちでお願いしたい取組の確認】……学校の取組と連動しています。

学校の重点指導内容については、これまで何度かお伝えしていますが、2学期も始まりましたので、再度確認させていただきます。どうか、よろしくお願いします。

①家庭学習の「認め」サインの取組

学力は人生を豊かにします。私たちが育った時代とは現在は大きく違い、とても複雑な社会となっています。そのため仕事の選択肢も増えていますので、より広く就職先なども考えられます。子どもたちに一定の学力をつけてあげるのは、親や教師の責任と思い、しっかり見てあげましょう。

②メディアルールを守らせましょう。

デジタル社会の中で、メディアに触れないと言うことはほぼ考えられません。しかし、メディアに振り舞われる人間にならないために、子どもの時期からしっかり付き合い方を学び、上手に付き合っていけるようにしましょう。

③がんばりを認める声かけをしましょう。

叱ってさせるより、褒めて自主的に取り組む方がよいのは理解できると思いますが、褒め方にもよい褒め方とよくない褒め方があるのをご存じでしょうか。よかった結果ばかりを褒めると、できなかった時にくじける子、隠す子になります。結果はどうあれ、途中の努力を称える声かけをしましょう。努力できる人間はたくましく生き抜くことができます。